

- ③ ピアノ線をすき間パットの内側にはめ込んで、容器を逆さにしてもすき間パットが落ちないようにする。

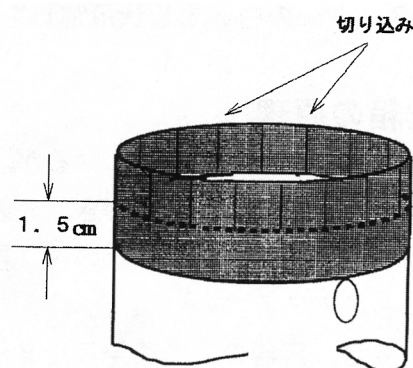
(3) アルミ底ふたの取り付け方

- ① 容器の開口部を上にし、容器にアルミ底蓋を黒色の面が内側になるようにのせる。

- ② アルミ接着テープを容器の側面に1周するように巻き付けて貼る。このとき右図のように開口面から約1.5cmになるようにする。

- ③ 上側にはさみで切り込みを入れ、折り曲げやすくする。

- ④ 切り込みから折り曲げて丁寧に密着して貼りつける。



2 α 線の飛跡の観察

放射線の飛跡を霧箱でみる場合、質量の大きい α 線の方が散乱されないため、比較的に見やすい。

ここでは、市販の放射線源であるマントルからの α 線の飛跡を観察する。



[準備物]

簡易型霧箱、マントル、ドライアイス（1kg程度）
ガーゼ、エタノール、ピペット、ポケットライト、軍手、注射器（針なし）、三方活栓

[実験]

- (1) 容器側面の穴から、ピペットのアルコールを容器の底にはめ込んであるすき間パット全体に、できるだけ均一にしみこませる。

- (2) 注入が終わったら速やかにゴム栓をする。

- (3) 軍手をはめ、容器がのる大きさのドライアイスをガーゼの上に置く。（凍傷防止に留意）

- (4) 容器をドライアイスの上のせる。

この時、容器が水平になるようにガーゼで調整する。（水平でないと飛跡が斜めに流れる。）

